

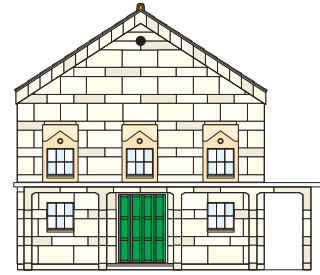
Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2018-10-15

APM news 200

秋山孝ポスター美術館 長岡

国の登録有形文化財・長岡市都市景観賞受賞・金庫扉と雁木のある美術館



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

第45回APM課外授業 6月14日(木)am10:50~am11:55/参加者:84名

「上組小学校6学年 APM見学」



長岡市立上組小学校(上組小)と秋山孝ポスター美術館長岡(APM)は、APM開館の2009年以来、9年間の交流を続けてきた。上組小では「美術」に力を入れた教育を行っており、一方APMでは活動目的のひとつに「教育」を掲げている。

上組小では6年生になると、校内に設けた「こだま美術館」を1年間かけて企画・運営していく。「地域の人々や作品とのふれ合いを通してそれらとつながり、自分の生き方を考えようとする態度を育てる」ことを目標に掲げ、活動している。自分で制作した作品を展示するだけでなく、学芸員として作品を解説する、美術館を訪れて学芸員の仕事を学ぶ、地域の人々の協力を得て校外で展示するなどの活動を行う。今回のAPM見学では、展示作品の鑑賞とともに、館長・秋山孝やAPM、学芸員の仕事について説明を受けたいと訪れた。

APM学芸員のたかだみつみが、秋山館長やAPMについて説明した。APM館長の秋山孝は長岡市宮内の出身。現在は多摩美術大学で教授を務めるとともに、イラストレーター、デザイナーとして活躍している。多くのポスター作品を生み出し、国内外で数々の賞を受賞している。たかだは6年生に、ポスターにはメッセージが込められていることを説明し、作品ひとつひとつのメッセージを読み取ってと呼びかけた。

続いてAPMの説明に移った。APMは2009年から美術館として開館したが、建物はかつて北越銀行宮内支店であった。金庫扉がその名残として残されていることや、各壁の名前とその由来を説明すると、6年生は面白そうに館内を見渡した。2010年に長岡市都市景観賞受賞、2016年には国の登録有形文化財にも登録された。「展示」「研究」「教育」を通して地域貢献をすることを目的に活動している。

美術館の役割については、「資料の収集」「保管・整理」「調査・研究」「教育活動に活用」の4つがあることを話した。そこで働く学芸員は専門的職員で国家資格が必要であること、国民の大切な宝を守り、「伝える」使命を持っていることを説明した。「多くの『もの』や『ひと』と関わる総合的な能力が必要です。何より、作品を愛して素晴らしさを伝えるという熱意をもって取り組んでほしいです」と、たかだ学芸員は語った。

最後に質問を受け付けると、多くの手が挙がった。展示のテーマはどのように決めているのか、作品研究ではどのようなことを調べたいのか、作品の展示はどのような順番かなど、自分たちが「こだま美術館」を運営していくことを念頭においた質問が多かった。中でも「作品研究をしていく上で、学芸員の解釈と作者の思いにずれが生じることもあるかと思うが、その場合はどちらを優先するか」という質問は興味深かった。6年生はこれから1年をかけて「こだま美術館」を運営していく。その中では、この日学んだことを活かすときがくるだろう。6年生にとってこの1年が学びの多い年となるよう願うとともに、地域の美術教育への貢献が重要であることを改めて感じた。(森山奈帆・APM職員)